

図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉 おしらせ No. 235

2026・1・21

坂下の屋根明けてゆく どんどこかな

一室生犀星一

明けましておめでとうございます。
左義長も過ぎ、
2026年の“日常”が始まりました。
今年はどうなるのでしょうか。
新年早々、海の向うから
心穏やかならざるニュースも
聞こえてきました。
午年はどこへ駆けていくのか
何を蹴散らすのか
願わくば
幸多き一年となりますように。

○ CONTENTS ○

PAGE

☆ これからの図書館の方向性と 第5次鎌倉市図書館サービス計画	千錫烈	…1
☆ 図書館協議会傍聴報告		…2
☆ NPO フェスティバル報告／湘南邸園文化祭報告		…3
☆ F☆L 報告：おはなしひこうせん／間島夫妻 旌徳の会		…4
TOTOMO 紹介／F☆L 実行委員会報告		…5
☆ 松坡先生をめぐる人々 28 山本盛太郎	袴田潤一	…6
☆ 映画と本と図書館と 50 / 銀幕情報	田邊恵美	…7
☆ ポラ協報告		…8
☆ 「としょかん」175 号記事ご案内／川崎彩子氏論文のご案内		…9
☆ 2025 年度活動報告・2026 年度活動計画		…10
☆ 2025 年度 TOTOMO 活動報告：間島の会／ひこうせん／読書 会／朗読会／学校図書館サポーターズ倶楽部／『世界』を読む会		…11
☆ 総会案内・会費納入のお願い・ご寄付御礼・振興基金寄付 報告／活動日誌		…12
☆ 事務局から		…12



これからの図書館の方向性と第5次鎌倉市図書館サービス計画

鎌倉市図書館協議会委員長 関東学院大学教授 千錫烈

図書館協議会は、図書館法第14条に基づき設置され、図書館の運営やサービスについて館長の諮問に応じるとともに、市民の声や専門的視点を図書館運営に反映させるための協議体です。私は2018年から鎌倉市図書館協議会の委員を務めています。

協議会では、2026年度から実施される「第5次鎌倉市図書館サービス計画」について協議を重ねてきました。このサービス計画は、「読書バリアフリーサービスの充実」「知識や情報のハブとなるサービスの拡充」「鎌倉の魅力を集積し発信する図書館の実現」という三つの柱を掲げ、資料、施設、職員、ICT技術についてバランスよく言及し、誰もが安心して利用できる図書館を目指す姿勢を示しています。

文科省が設置した「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」が2025年12月13日に公表した「図書館が拓く未来の学びと地域社会（報告書案）」でも、図書館を多様な人々が集い・学び・交流する「地域の知の拠点」と位置づけています。読書バリアフリーやICT活用を通じたユニバーサル・アクセスの実現など、「第5次鎌倉市図書館サービス計画」で示された考え方と共通する部分も多く、これからの図書館の方向性を示すものといえます。

しかし報告書案では、図書館DX、電子書籍、デジタルアーカイブなど多様な取組が例示され、それを担



千錫烈委員長

う司書の積極的採用の必要性には触れられているものの、司書配置や資料費を安定的に確保するための法制度整備や財源措置の言及までは踏み込んでいません。

鎌倉市図書館協議会では、「第5次鎌倉市図書館サービス計画」の諮問に対し、サービス計画に見合った予算や人材の確保が必要であることを答申として示しました。

今後も図書館協議会はサービス計画の進捗を踏まえながら必要な意見を述べ続けるとともに、「図書館とともだち・鎌倉」の皆様と協力しながら、鎌倉市図書館の振興を目指していきたいと考えています。

令和7年度第3回図書館協議会傍聴報告

日時：2025年11月18日

場所：中央図書館多目的室

前回と異なり、今回の図書館協議会は早々に日程発表がされ11月1日付の広報にも掲載されました。傍聴しましたので報告します。

まず市議会の関連質問の報告から始まりました。上野学議員から現在の職員体制に関する質問があり、館長から正規職員20名の内17名が司書有資格であり、会計年度任用職員39名の内、図書館業務を担う職員は全員有資格であると回答された由。図書館の3要素として、施設・人（司書）・資料があげられますが、中でも司書資格を有する職員の存在は図書館運営にとり最も重要なポイントと考えます。上野議員からも同様の意見があったと聞きよかったと思いました。また吉岡和江議員から市政100周年にむけた市史編さん事業について、庁内組織や人的体制に関する質問がされたとのこと。市史編さん作業が滞っていることは前号でもお知らせしましたが、鎌倉の100年を振り返りつつ未来に向けて市史のバトンをつないでいくことは、市が担うべき大切な仕事だと思います。一日も早く体制を整えて、スタートされるよう願います。

次に、「第5次図書館サービス計画」策定のために行われたアンケート『こんな図書館あったらいいな』や『鎌倉市子ども読書活動推進計画アクションプラン（案）』がそれぞれ報告されました。何れも丁寧にまとめられており、今後の意欲的な取り組みが期待されます。

協議事項は、①図書館の施設整備について ②これからの図書館のあり方について、の2点でした。資料として視察先の一覧表や写真などが配布されました。数名の職員さんが、長野県塩尻市、東京都荒川区、大阪府茨木市、同守口市、藤沢市、宮城県富谷市など、複合施設に入る公共図書館を精力的に視察し、①②について懸命に検討を重ねられていることが伝わってきます。市民懇談会等を開いていただき、市民がもっと詳しく視察内容を伺える機会がほしいなと思いました。

その後、千錫烈協議会委員長より答申書『第5次鎌倉市図書館サービス計画について』が栗原館長に手渡されました。図書館協議会は図書館長の諮問機関であり意見具申機関です。今後大きな動きが予測される鎌倉の図書館にとって、今回の『第5次鎌倉市図書館サービス計画』はその在り方の重要な指針となります。協議会委員を代表して千委員長から栗原館長へと答申が手渡される時間は、和やかながらも身の引き締まる瞬間でもありました。協議会委員の皆さまに感謝いたします。

議事録、配布資料、協議会委員名簿など、詳しくは鎌倉市図書館のHPでご覧ください。

[図書館協議会 | 鎌倉市図書館](#) ※第3回図書館協議会議事録は1月20日現在未掲載です。

帰り道、同行したメンバーがつぶやいた「今回は、協議会委員も職員もマイクを使ってお話しされていたから、耳が遠い私でも皆さんのお声がはっきり聴き取れたし、活発な意見交換を共有できてよかった」との声を嬉しく聞きました。図書館のご配慮に感謝します。

次回の図書館協議会（第4回）は、3月12日（木）14時～16時に開催される予定です。

（阿曾）

2025 かまくら市民活動フェスティバル参加報告

12月14日（日）於：たまなわ交流センター・NPOセンター大船



子ども向けの読み聞かせ

今年は大船での開催となったNPOフェスティバル。テーマは、「紡ぐ（つむぐ）～つながる鎌倉」でした。大船のNPOセンターが無人での運営になってから、初めて訪れましたが、当日はバザー会場やフードコーナーになっていて、熱気にあふれていました。

TOTOMOは、パネル展示とおはなしひろくせんによるおはなし会で参加しました。

パネル展示は、2階の第2会議室で行われ、28団体のパネルが所狭しと並んでいて読みごたえがありました。TOTOMOのパネルでは、読書会や間島の会など各会の活動を紹介しました。おはなし会は、地下の第1集会室で開催。1時間の枠の中、前半は子ども向けにクリスマスや冬をテーマの読み

聞かせ、後半は大人向けの紙芝居などを読みました。フェスティバルのスタッフの皆さんが、お声がけくださったので多くの参加者があり、充実したおはなし会となりました。

（杉崎）



TOTOMO 活動紹介パネル

湘南邸園文化祭 20周年記念特別企画参加報告

第8回『神奈川の戦後建築の保存活用・旧神奈川県立近代美術館』

講師：小林宜文氏（丹青研究所） 宍道弘志氏（坂倉建築研究所）

12月20日（土） 於：大路ビル 参加者 24名

旧神奈川県立近代美術館を設計した坂倉準三氏は1937年のパリ万博の日本館に携わり建築部門グランプリを受賞している。

同美術館本館は鎌倉の鶴岡八幡宮境内の一部を神奈川県が賃貸借し、パリと共通する豊かな自然との調和を考慮して建設され、1951年11月に開館した。

2016年賃貸借満了に伴い閉館・解体の予定となったが多くの鎌倉市民の熱意を受け保存継承に変更となり、2019年6月新たに鎌倉文華館鶴岡ミュージアムとして開館。2020年には国重要文化財建造物に指定された。

改修にあたっては「新たな交流と文化を育み発信する」「鶴岡八幡宮や鎌倉の理解を深める活動を行う」などを基本理念とし、再開館の際は耐震性向上による安全確保、バリアフリーの対応、動線の変更、憩いの場の提供、防水止水性の向上、環境への配慮、所有者や鶴岡八幡宮境内全体や近隣に対しての価値向上なども考慮された。また、記録保存も重要視し、機能向上に必要な材料、技術、施工方法などを有識者、施行者たちが連携して繰り返し協議し、文化財の保護や坂倉氏の意図・思想の継承を重視しながら改修した。

大路ビルでの講演後には、鎌倉文華館鶴岡ミュージアムに移動して見学。今までは展示物を観るために利用していた文華館を、今回は建築物として見学しました。新旧の大谷石の積壁が技術力によって耐震補強に活用されていることに驚くとともに、桂離宮書院の斜路を模した中庭を歩くなど、充実した企画を堪能しました。（阿部）



旧神奈川県立近代美術館
（現在は鎌倉文華館鶴岡ミュージアム）

昨年12月6日と7日、中央図書館にてファンタスティック☆ライブラリー・114が開催されました！各会からの参加報告です。

♪ おはなしひろくせん

My Favorite Things ～私の好きなもの～



ワークショップ
何ができるかな？

今回は、初めてアマチュア人形劇団いちばん星さんとのコラボ企画を行いました。いちばん星さんは、人形劇「キツネのいたずら」を演じて下さり、私たちは上演後のワークショップで、キツネの折り紙と「ぐりとぐら」のぬりえを参加された皆さんと一緒に楽しみました。人形劇は小さいお子さんも喜んで見てくれ、親御さんから「次はいつやりますか？」とうれしい問いかけもありました。

一方、パネル展示では、自分が好きなものに関する絵本を紹介しました。それぞれが選んだテーマは、「色」「歌」「絵を描く」「おしゃれ」「おまじない」「科学」「木」「散歩」「花」「本」「和菓子」「和ごろも」でした。

なんとといっても、好きなものの紹介ですから、絵本選びにもパネル製作にも力が入りました。

パネルは、1月下旬から各地域

館を巡回するほか、図書館のHPに公開される予定です。

おはなし会では、パネルで紹介した絵本と小さいお子さんむけの絵本を組み合わせたプログラムで行いました。

7日（日）には、鎌倉女子大の学生さんたちも読み聞かせやワークショップを行い、手遊びなどを通じて交流できたこともよかったと思います。

（杉崎）



パネル展示がにぎやかな部屋でおはなし会



♪ 間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会『間島弟彦・愛子夫妻の寄贈本とゆかりの人々』PART3



3F 通路のガラスケースに展示

「間島弟彦・間島愛子夫妻の寄贈本とゆかりの人々」PART3では、貴重書展示総集編とし、寄贈本約140冊の中から佐佐木信綱・竹柏会など国歌関係、芸術・美術関係、キリスト教関係、間島家・同人会・三井銀行など交友関係、その他の32冊を選びました。

これら明治から昭和初期にかけての活版印刷の本は、通常貴重書保管室に収蔵されており普段手に取ることは出来ません。会員各自、思いを込めて複数冊の本を選び、そつといたわるように頁をめくりながら解説文を作成。丁寧にガラスケース内に展示しました。

当時の装幀の美しさは現代と違った趣があります。構成の仕方が独特の本があり、著者名や奥付がなく表紙をめくるといきなり本文、而も189頁から始まり後記を読むことでどの様にこの本が作られたのか、その経緯がわかる本もありました。

これらの蔵書から間島家の幅広い交友関係がうかがわれ、この時代の本が持つ文化をあれこれ想像逞しくできたことも楽しみの一つでした。傷みが激しくなっている本が多く、これからの保存方法が大きな課題の一つかと思われます。

近現代文学に興味をもっている中学1年生の学生さんが2日間にわたって来館され熱心に観てくださり、会員一同嬉しく励まされました。

（阿部）

▶TOTOMO 紹介 パネル展示

1 階フロアでは、TOTOMO はどんな団体かを皆さんに知っていただこうと、パネル展示で紹介しました。

「読書会」、「朗読会」、「鎌倉から『世界』を読む会」、「学校図書館サポーターズ倶楽部」、「間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会」、「おはなしひこうせん」、そして、会報を発行していること、鎌倉市の NPO 団体としての活動等、それぞれの活動ごとに紹介文を作成して、私たちが図書館を応援するために普段どのようなことを行っているかを見ていただきました。

隣に展示されている「間島弟彦・愛子夫妻と関東大震災」の展示パネルとともに、多くの方が足を停めてご覧くださっていました。
(齊木)



1F カウンター前のスペースに展示

第4回ファンタスティック☆ライブラリー・114 実行委員会報告

12月18日（木） 於：中央図書館多目的室

ファンタスティック☆ライブラリー・114 が無事終了し、3 団体4 名と図書館員6 名の参加で今年度の振り返りと来年度に向けての話し合いを行いました。

1.各団体の振り返り

- ＜鎌倉の別荘地時代研究会＞ 今回は、大船軒の資料の展示を行い、すでに解体されてしまった建物（昭和6 年築）について、紹介できてよかった。大船や玉縄でも展示できるとよい。
- ＜かまくら女性史の会＞ 土日の開催だったので、活気があってよかった。階段での展示は、よかったが、上り下りで疲れてしまった。説明の際に「小さい声で」と利用者に注意された。
- ＜松坡文庫研究会＞ テーマ「間島弟彦・愛子と松坡先生」のパネル展示を行うとともに、両日袴田代表によるギャラリートークを開催、スライドを交えながらの楽しいお話を楽しみました。催し案内の館内放送をもう少し早めにしてほしかった。
- ＜間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会＞ 階段での展示は多くの人々がいたが3 階まではなかなか来てくれなかった。講演会には、中学生も参加してくれて熱心に聞いてくれ、うれしかった。
- ＜おはなしひこうせん＞ アマチュア人形劇団いちばん星さんとのコラボ企画は参加者も多く楽しんでいただけた。鎌倉女子大の学生さんたちとも、おはなし会に参加することで交流できたが、事前に紹介があるとよかった。1 階入り口で、おはなし会へのお声がけをしていただいたことはよかった。
- ＜図書館＞ いつもの土日より、子どもがあまりいなかった。開館日に行うメリット、デメリットがあるが、今回は概ねよかったと思う。階段での展示は、2 階のフロアからも見えてよかった。案内図やスケジュール表を掲示するなど、3 階への誘導はさらに工夫が必要。宣伝の難しさを感じた。

2.巡回のスケジュール 1 月下旬から3 月上旬にかけて巡回中。

※詳細は図書館 HP にてご確認ください。

3.来年度について 中央図書館は、修繕が入る予定があるが工期が未定で、開催が難しい。日程や地域館での開催にするかなど、各団体で検討して年明けに図書館へ連絡し、その後調整を行う。

4.その他 実行委員会を開催日直前にも行って、情報を共有したい。

今回は、4 月16 日（木）に行う予定。TOTOMO から阿部と杉崎が参加しました。（杉崎）

松坡先生は昭和 19 (1944) 年 2 月 24 日に亡くなりましたが、その 2 か月後の 4 月 24 日、先生の生涯の詩友であった上村賣劍は寿福寺の先生の墓に香華を手向けています。

二十四日は松翁の命日に相当するので、約を趁^おふて午前^{ごさん}十時鎌倉高女校に山本松琴氏を訪ね、午餐^{もてなし}の饗^{りょう}に預り、後相携^{りょう}へて菱花山館^{りょうかさんかん}に赴き、佛前にて焼香し、更に徒歩菩提寺壽福寺に向った

『漢詩春秋』第 28 巻第 5 号 (1944.5) の「瓦釜雷鳴」欄に賣劍が記しています。賣劍に同道したのは松社同人山本松琴、本名盛太郎でした。その日は木曜日で、賣劍は山本盛太郎が校長 (在職 1943~1947) を務める鎌倉高等女学校で山本盛太郎に会い、水道路の松坡先生宅を訪ね、寿福寺に赴いたのです。

山本盛太郎は明治 10 (1877) 年、千葉県安房郡健田 (現、南房総市) に生まれました。千葉県師範学校で学び、小学校訓導を歴任し、千葉県師範学校の教諭になります。大正 2 (1913) 年には横浜尋常高等小学校訓導兼校長となり、昭和 7 (1932) 年まで長くその職にありました。その間、教育状況視察委員に選ばれ、大正 6 (1917) 年にはアメリカに、同 10 (1921) 年には朝鮮・中国に赴いています。教育界で大きな業績を残した人物であり、「多年育英教化事業に貢献せる功績は殆ど擧げて数ふべからず… (中略) …昭和三年九月十五日正七位に叙せらるる^{ただ} 薈^{たぐい}に氏の名譽たるに止まらず縣教育界の矜持^{きやうじ}と謂ふべし」(『神奈川縣紳士録』横浜市誌編纂所 1930) と記されています。そうした経緯から、昭和 18 (1943) 年に鎌倉高等女学校の校長に招かれたのでしょう。

漢詩人としての盛太郎の号「松琴」の選定は松坡先生によるものかも知れません。同人となった時期は不明ですが、昭和 5 (1930) 年 6 月 20 日の松社同人による桂川 (相模川) 下りに松琴が参加しています。この日は金曜日だ

ったのですが、松坡先生も松琴も仕事はどうしたのでしょうか。

『松社同人集』(1938) にはその舟下りを詠じた松琴の七言律詩「夏日下湘谿 (夏日^{しやうげい}湘谿を下る)」が収められています。読み下しのみ紹介します。「十里の長江一棹^{いっとう}の舟^{ふね} 湘谿の六月 秋より冷

なり 山は煙雨を含み 参差^{さんし}として聳え 水は珠磯^{しゆき}に迸^{ほとばし}り 蕩漾^{どうよう}として流る 数尾打ち来る魚膾^はにすべし 百杯傾け去る 酒油^{しゆ}の如し 湍激^{たんげき}しく膽^{きも}を寒からしむも 我閑せず 半日機を忘れ 白鷗^{はくおう}に隨う」

『松社同人集』には「花下口號 (花の下にて口号)」と題された詩も採録されています。「口号」は詩歌を口ずさむこと、即興の詩をいいます。その承句・転句に「快酌聊忘老與貧。有酒有花宜醉倒。(快酌 聊か老と貧を忘れ、酒有り花有り 宜しく酔倒すべし)」とあります。松琴は松坡先生と同様、酒客のようです。松琴にとって松坡先生は教育者としては先輩、自分が校長を務める学校の創立者でもありました。松琴と松坡先生は親しく交際したのでしょう。松坡先生没後、賣劍と誘い合って寿福寺の墓所を訪ねたことも大いに頷けます。松坡先生が亡くなった折、遺族 (長男元) は弔問も供物も謝絶しました。時節柄とは言え寂しい思いをした松坡先生の霊にとって、松琴と賣劍の墓参は嬉しかったに違いありません。



「山本盛太郎」
(『神奈川縣紳士録』横浜市誌
編纂所 1930)





第50回 映画と本と図書館と

『教皇選挙』（原題：Conclave）

（2024 年米・英 制作／監督：エドワード・ベルガー）

キノフィルムズ配給（日本公開2025年）

「かまくら銀幕上映会」ナビゲーター 田邊恵美

謹賀新年。そして、祝連載50回！何より尊いのは、ここで私に忍耐強くスペースをご提供くださった『ととも』の皆さまです。お陰様で『かまくら銀幕上映会』も今年秋で19年目。数字は所詮、通過点。今年も淡々と歩みを進めてまいりましょう。

この作品、昨年夏頃に『かまくら銀幕上映会』に掛けるつもりでおりました。日本でのロードショーは昨年3月20日春分の日からスタートし、なかなかの話題作となったところ、そのほぼひと月後の4月21日、第266代ローマ教皇フランシスコ逝去。さあ大変、リアル“教皇選挙”が始まることに！現実とリンクしたような映画はロングランヒットとなり、“銀幕”登場も数ヶ月先に延びたのでした。

2000年以上続くキリスト教で最も古くからの宗派であるローマ・カトリック教会の聖職者の最上位を決める選挙（コンクラーヴェ）は、枢機卿と呼ばれる高位聖職者の互選選挙であり、その過程は全て非公開。今回、日本からも二人の枢機卿が参加しており、複数の参加者が事前にこの映画を見て予習（？）していたと伝えられています。

中身のドラマ部分はもちろん完全なフィクションですが、ディテールはかなり現実在即したようで、三分の二以上の得票をもって次の教皇が決まります。参加者は一人ずつ聖書（福音書）に手を置き宣誓をしてから会場へ。アメリカ大統領就任式でも見かけますが、『この本に誓って』と言える本、貴方にとっては何でしょうか…？

ところでコンクラーヴェ中は実に厳格にデジタル機器から隔絶されるので、参加者は徹底して『祈りと対話』に集中するとのこと。なるほど！

かまくら銀幕上映会のお知らせ（主催：ドリーム・アーツ（03-5969-8081）於：鎌倉芸術館小ホール

1/26（月）『マリリン・モンロー 私の愛しかた』

2/19（木）『パルテノペ ナボリの宝石』

3/9（月）『遠い山なみの光』

◎前売り券・シニア 1100 円（当日券：1400 円） ◎上映時間①11:00～ ②14:00～

☆上映スケジュールの確認は、鎌倉芸術館（0467-48-5500）へ

☆受付で「田邊さんから聞いた」とおっしゃっていただければ、前売り料金でご覧いただけます。



ボランティア連絡協議会報告

12月18日(木) 於：福祉センター

12月18日にボランティア連絡協議会委員会を行いました。

最初に社会福祉協議会佐藤職員から能登半島での支援活動報告。地震からの復興もまだまだながら公的な支援体制は縮小され、民間のグループ等が活躍しているとのこと。さらに土砂災害もあったので、家の前に積み上がった土砂を取り除く作業の様子を写真や動画で見せていただきました。



その後は社協とボラ協から11月23日に開催された福祉まつりの報告とお礼がありました。入場者数は1600人ほどで例年より少な目でしたが売り上げは45万円を超え、昨年を大きく上回りました。お手伝いスタッフは当日は150人ほど、事前準備には延300人以上が参加し、楽しかったという声が多く聞かれました。当会からも数名が参加しています。

次回委員会は2月19日(木)ですが、ミニ研修として、鎌倉在住の高校生による、自身が制作された震災ドキュメンタリーの紹介とお話を伺います。これは大災害が発生しても大きく報道される地域と注目されない地域があることに疑問を抱いたことがきっかけで作られたのだそうです。次のURLから詳細をご覧ください。

[Since 3.12 報道・表現の自由 | NPO 法人映画甲子園公式HP](#)

[第18回みゆき野映画祭 in 斑尾 ～北欧・日本国際短編映画祭～](#)

参加ご希望の方は、当日10時半ごろに福祉センター第1・2会議室にお越しください。

研修の後は、ボラ協マルシェを行います。出展者はまだ確定していませんが、お買い物やお茶を楽しむひとときにしたいと思っています。こちらもぜひご参加ください。

(黒瀬)



TOTOMO の活動が注目されています！

当会メンバー和田安弘さん執筆の『「ととも」はこれまで何をし、それがなぜできたのか』が冊子「としょかん」175号(2025.11.1 としょかん文庫友の会発行)に掲載されています。

当会の活動について改めて振り返り、また考えてみる良い機会にもなるのではないのでしょうか。

「としょかん」は、鎌倉市中央図書館に所蔵、借りて読むこともできます。

TOTOMO が以前(2025年7月)取材を受けた飯能市立図書館司書・川崎彩子さんの論文が、日本図書館情報学会のホームページに公開されています。

(<https://www.jslis.jp/> ⇒「『公共図書館の未来』(2030年代の図書館と情報サービス第1巻)発刊のお知らせ」⇒『公共図書館の「未来」市民参加・連携・再編・メタバースの観点から』ぜひご覧ください。

2025 年度活動報告

(2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

〈重点事業〉

- ① 市庁舎移転に伴う図書館のこれからを考える活動
- ② 司書採用の継続の見守りと図書館司書の専門性を幅広く理解してもらうための活動
- ③ 学校図書館についての現状を把握し、理解してもらうための活動
- ④ ファンタスティック☆ライブラリーへの企画・参加
- ⑤ 旧図書館の記録集の作成

2025 年度の夏は酷暑が続き、短い秋に急な寒さ、体がついていけないような気温の変化、昨年に続くお米や食料品等の物価の高騰とその他にも語り切れない一年でした。TOTOMO は①の図書館のこれからを考える活動として図書館協議会や市議会の傍聴などをして情報を集め、例会で話し合いをしています。②2025 年度に司書の正規職員採用募集は残念なことにありませんでした。③2024 年 9 月に立ち上げた「学校図書館サポーターズ倶楽部」は学校図書館司書の方と現状や作業を理解するため情報交換や図書館関連の大会に参加するなど活動を続けています。④ファンタスティック☆ライブラリー・114 (2025 年 12 月 6 日、7 日) に参加。今回は両日とも開館日に行われました。⑤国指定有形文化財になった旧図書館の軌跡の記録集の作成に取り掛かっています。その他 NPO フェスティバル参加、必要と思われる傍聴や勉強会を行いました。

2026 年度活動計画 (案)

〈重点事業〉

- ① 現在地本庁舎・深沢新庁舎の「両輪体制」の市庁舎案に伴う、図書館のこれからを考える活動
- ② 司書採用の要望と図書館司書の専門性を幅広く理解してもらうための活動
- ③ 学校図書館についての現状の理解と拡充するための活動
- ④ 旧図書館の記録集の作成
- ⑤ 新市史編纂の完成に向けた要望

市庁舎移転に伴う図書館を考えることは 2026 年度も活動計画事業としました。さらに図書館司書・学校図書館司書の重要性について理解してもらうための活動も続けて行う予定です。旧図書館については 登録有形文化財となったことを記念して記録集を作成しています。新市史編纂は鎌倉市の歴史を把握し、これからの市を考えていくことへの土台としても大切なことと考えます。よって完成に向けての要望をしたいと思います。そして今年度もファンタスティック☆ライブラリーその他、NPO フェスティバル、地下道ギャラリー展等、とにかく出来ることをできる範囲で取り組んでいきたいと思っています。皆様からのご意見ご感想は私たちにとってたいへん励みとなっています。

本年も TOTOMO の活動にご協力くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



《2025年度TOTOMO活動のご報告です》

○間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会○

ここ3年、中央図書館が所蔵している間島夫妻からの寄贈本調査を続けてきましたが、作業が一段落し、約140冊のデータをまとめ、その一部をF☆L・114で発表しました。隔月の例会では調査・研究発表のほか、毎年恒例となった見学会を行いました。5月にオープンしたばかりの青山学院ミュージアムを訪ね、間島弟彦を顕彰して特別に設けられた展示室で貴重な資料を閲覧。あらためて間島夫妻の事績について多くを学ぶことができました。

(鈴木)



○おはなしひろくせん○



今年度も、毎月の勉強会の他、子育てサロンでのおはなし会、夏の遠足、折り紙講習会、ファンタスティック☆ライブラリーやNPOフェスティバルへの参加と充実した一年でした。勉強会への参加者も増え、ことに男性陣の活躍が目覚ましかったです。有志によるユニーフでの点字絵本の貸し出し作業や建長寺でのお話会も毎月楽しく参加しています。

(杉崎)

○読書会○

概ね奇数月の第4金曜日に開催しています。今年度も毎回2冊合計12冊の本を読みました。遠方に引っ越しされた会員さんが、久しぶりに参加して下さったり、数年ぶりに復活された会員さんがいらっしゃったりで、地道に続けている良さを感じました。まだ読書会に参加したことのない方、久しぶりに参加してみたい方、お気軽にいらしてください。お待ちしております。テーマ本も募集中です！

(杉崎)



○とともに朗読の会○



毎月1回 保育園みつばちで、3～5歳児の30人程に4冊の絵本読みをしています。子ども達は元気な挨拶をして、聞いてくれます。

季節が感じられる、年少向けの本から始め、絵本と手遊びを子ども達と共に楽しんでいます。3年間聞いてくれた子どもが卒園する3月は、1冊の絵本を2人で読みます。ヴァイオリン演奏と一緒にしています。

(中村)

○学校図書館サポーターズ倶楽部○

一昨年に発足した「学校図書館を考える会(仮)」の正式名称が決まりました！学校図書館の充実を願うメンバーが集い、オンラインや対面で情報交換しながら活動しています。不定期ながら、「読書バリアフリーに向けた学校図書館」や「全国書誌(ジャパンマーク)活用の可能性」などをテーマにゲストを迎えての学びを重ねています。

(阿曾)



○鎌倉から「世界」を読む会○



3人で始めて、4人目が常連にならないまま、もとの3人にもどりました。会の趣旨が生かされているか、反省はありますが、3人の合評が楽しいことこそ、4人目につながるでしょう。『世界』の合評が楽しいのは、分断される世界で孤立するのが自分ひとりではないからです。1001号の「それでも人間を信じる」という特集タイトルを「それでも読む人間を信じる」と補って、今年も続けます。

(東)

日時：2026 年 2 月 1（日） 10：00～11：00
場所：中央図書館 3F 多目的室

◎年会費納入と会員拡大のご協力のお願い◎

〔26 年度会費(1-12 月分)一口 1,000 円〕
 ゆうちょう銀行振替口座番号 00230-5-16611
 ゆうちょう銀行振替口座名 図書館ともだち・鎌倉

2025 年度ご寄付くださった方々

☆2025年度も多くの方にご寄付をいただきました。ここにご報告し、心よりお礼申し上げます。

伊藤澄子・石井美紀・石原裕子・大山文子・松本陽子・吉山京子・鈴木保美・石田美智子・木村みどり・小田原和代・鈴木昭正・山下すみ子・津村留美・渡部恵美子・大貫玲子・古矢良子・古矢史於・高柴圭子・高橋円・夏梅安代・大木禮子・阿部光世・中田孝信・岩沢佳子・福田曜子・黒瀬聖子・楳本春子・その他匿名の方々

(ご寄付いただいた順・敬称略)

12月17日、TOTOMOは中央図書館へ「図書館振興基金」10,000円を持参し、栗原館長にお渡ししました。鎌倉市図書館100周年の2011年に制定された「鎌倉市図書館振興基金」。TOTOMOでは、翌年2012年より、毎年10,000円を、2017年にはNPOフェスティバルでの古本市の売り上げから25,000円を寄付しています。総額は165,000円になりました。今後も、図書館振興基金の行方を見守りながら、ささやかではありますが寄付を続けていきたいと思っています。

図書館振興基金 <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/fund.html>

TOTOMO活動日誌 (12/3~1/21)

12/2	間島弟彦・間島愛子夫妻旌徳の会	12/20	湘南邸園文化祭スタッフ参加
12/5	教育委員会永井先生との懇談	12/24	会計監査
12/5	ファンタスティック☆ライブラリー準備	12/25	鎌倉から『世界』を読む会
12/6、7	ファンタスティック☆ライブラリー	1/15	おはなしひこうせん勉強会
12/11	ボランティア連絡協議会役員会出席		
12/14	NPOフェスティバル参加		
12/18	ボランティア連絡協議会委員会出席		ロビー活動 随時
12/18	F☆L実行委員会出席		定例会 6回 (12/2, 10, 17, 1/7, 14, 21)



COMING NEXT ! 事務局からのお知らせ

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

第28回 2025年度会員総会

日 時：2月1日（日）10時～11時 場 所：鎌倉市中央図書館3階多目的室
今までの活動を振り返り、今後の活動につなげるために今年度も会員総会を行います。
添付の会員総会のお知らせや総会資料をご参照の上、是非ご参加ください。

◇◇ 会員交流会 ◇◇

総会に続いて、11時～13時に同じ会場で会員の皆さまとの交流会を行います。
おすすめの本を1冊お持ちください。本を片手に大いに語り合しましょう。
茶菓子を用意しますので、お飲み物をご持参ください。皆様のご参加お待ちしております。
お問合せは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。

鎌倉から『世界』を読む会

毎月8日に発売される雑誌「世界」を各自読んで、月末に読書会を開催します。
第11回（2月号）：1月29日（木）14時～16時 場 所：NPOセンター鎌倉
お問い合わせは、東（TEL 0467-46-5548）まで。

おはなしひこうせん勉強会

日 時：2月19日（木）10時～12時 場 所：福祉センター
テーマ：「ねこ」2月22日のねこの日にちなんで、ねこの絵本や紙芝居をご紹介します。
お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。

読書会

日 時：1月23日（金）11時～12時半 場 所：NPOセンター鎌倉
テーマ本：デルフィーヌ・ミヌーイ著『シリアの秘密図書館』（東京創元社）
（文庫版書名は『戦場の希望の図書館』）
鈴木俊貴著『僕には鳥の言葉がわかる』（小学館）
皆さまのご参加お待ちしております。
お問い合わせは、杉崎（TEL/FAX 0467-41-4956）まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

日 時：2月4日（水）13時半～16時半 場 所：NPOセンター鎌倉
お問い合わせは、鈴木（TEL 090-4728-5242）まで。

★図書館友の会全国連絡会

3月5日のシンポジウム「特別支援学校の教育環境の現状とその改革に向けて」（主催：学校図書館整備推進会議）
や同15日の図書館セミナー「市民と図書館～ともに図書館のすそ野を広げていくために～」（主催：日本図書館協会図書館政策企画委員会）への参加を予定しています。お問い合わせは、阿曾（TEL/FAX：0467-45-5731）まで。



編集後記 * * * * *

☆12月は、F☆LやNPOフェスなどイベント続きで忙しく過ごしていたので、お正月は、読書会のテーマ本を読むなどのんびりと過ごしました。今年もよろしくお願いいたします。（A.S）
☆今年も充実した内容の会報をお届けできるよう、編集一同、心して作成に取り組みます！（M.S）

題字・巻末カット：小島寅雄
図書館とともだち・鎌倉（代表：水岡やす子）

2026年1月21日発行
編集：阿曾・黒瀬・杉崎・斉木

事務局：〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-14-34（黒瀬）
TEL/FAX 0467-22-8545

HP：<https://totomo.sakura.ne.jp>
E-mail：toshokantomodachi@gmail.com

